

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no.

5

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします



## つながり

中北教育事務所

副所長 小林新吾

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃より中北教育事務所、地域教育関連事業に御理解と御協力をいただきますことに、心より感謝申し上げます。

昨年暮れに発表された世相を表す漢字が「災」だったのは、記憶に新しいことと思われます。振り返ってみますと、昨年は自然災害を含め「想定外の～」という言葉が多くメディアで取り上げられた一年で、改めて地球環境のあり方を含め、人が創りだした産物や生き方について考えさせられた一年でした。

寺田寅彦の言葉とされる「天災は忘れたころにやってくる。」という警句はよく知られている言葉ですが、昨年は「災害は忘れる前にやってくる。」とよく耳にしました。「もしかしたら自分も」という心構えとともに、いつ来るかもしれない天災を人災にしない努力や準備が求められているように思います。

実際には、日常生活で感じる違和感や疑問を流さず、様々な可能性を様々な人と伝え合い、ソフトとハードの両面で、現実的かつ実効性のある対策を立てておくことが大切です。いわば「感覚的な不安をそのままにしない」ということかもしれません。しかし、これは何も天災に限ったことではありません。日々の生活にもあてはまるのではないのでしょうか。

地域の空洞化、人間関係の希薄化も進行している現代にあって、人と人との関わり方や家族相互の関係も昔とは違ってきています。そのことをしっかりと認識し、面倒がらず、さまざまな関係やつながり、さらにはコミュニケーションそのものも見つめ直し、温かく支え合う関係から、自助・共助・公助を目指すことが子どもにとっても大人にとっても重要です。

学校教育においても、新しい学習指導要領がめざす、主体的・対話的な学び、社会に生かす学び、社会との連携・協働等は、今まで経験したことのない時代を生きる・生き抜く力を育成するためにどれも必要な資質や能力です。そこに教職員が命を吹き込み、保護者や地域の方々、そして行政と手を携え、同じベクトルで子どもたちの育ちにかかわっていくことが、きっと将来を担う子どもたちの支えとなるに違いありません。

さて、これから一年で最も寒い季節を迎えますが、暦の上では春となり、頒春、賀春など新しい年の始まりを祝う言葉をよく目にしました。いずれも季節感を楽しむ人々の思いや四季の自然のうつろいを味わう心の豊かさなど、先人たちの言語感覚の鋭さが感じられます。

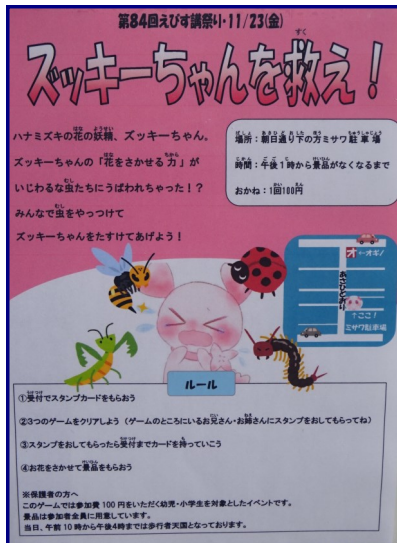
例えば、雪の種類も風花、泡雪など、とても確かな美的感覚で自然を見つめ、味わい、表現し、その表現を共感・共有しようとした古の人々の心と感性の鋭さに驚かされます。この営みは、言葉を通じて人と人とがしっかりとつながっていたことの証かもしれません。私たちもさまざまなものを思いやる心と言葉、そして心の豊かさも大切にしたいものです。

中北教育事務所におきまして、これらのことを大切に、今年度も様々な諸課題に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。

年頭にあたり、この一年がよりよき年になりますよう心より御祈念申し上げます。



## 「ズッキーちゃんを救え！」 甲府城西高校



11月23日(金)、えびす講まつりで歩行者天国となった甲府市朝日町通りの一画を会場に、山梨県立甲府城西高校ビジネス会計系列・情報管理系列の3年生が、山梨県立大学国際政策学部の学生と連携・協働したイベントが開催されました。



教育実習でお世話になった県立大の実習生と連携したこのイベントは、朝日町商店街の活性化を目的に企画されたもので、高校生は授業の一環として、商店街の「ゆるキャラ」である「ズッキーちゃん(朝日町通りのシンボルツリーであるハナミズキに由来)」をより多くの人に知ってもらうためのアイデアを大学生と共に綿密に練り上げてきました。まずは、「ズッキーちゃん」そのものをリニューアルするところから始まり、この日に向けて事前に保育園などを訪問し、子どもたちに宣伝活動も行ってきたそうです。

「ズッキーちゃんを救え!」と銘打たれたこのイベントは、しっかりとしたコンセプト(ストーリー)のもと、子どもたちの興味・関心を喚起するゲーム(遊び)を多く取り入れた、非常に完成度の高いものでした。多くの子どもたちが目を輝かせながら順番待ちの列をつくる姿を見て、「ズッキーちゃん」の認知度は大いに高まったと感じました。

「準備の段階から子どもたちをはじめ多くの人々と関わってきた経験は、今後の人間関係の構築に活かすことができる」、「物とお金の交換ではなく、アトラクションでお金をもらうことの難しさや楽しさが分かった」と語る高校生の生き生きとした表情がとても印象的でした。



## 「あきのたからものランド」 竜王南小学校



11月26日(月)、甲斐市立竜王南小学校の体育館で、同校の1年生と、近隣のかおり幼稚園・万才保育園の園児(年長さん)との交流会「あきのたからものランド」が開催されました。園児の中には、来年、この小学校に入学する子どもたちもいるそうです。

同校は甲斐市教育委員会から「確かな学力の育成推進事業」の指定を受けており、1年生の生活科では、四季の変化を体感し、季節の恵を生活の中に取り入れることで、自らの生活を豊かなものにする活動が行われています。この秋は、子どもたちがアイデアを出し合って、木の実や木の葉を使った様々な遊びを考案し、工夫・改良しながら楽しく遊んできました。そし

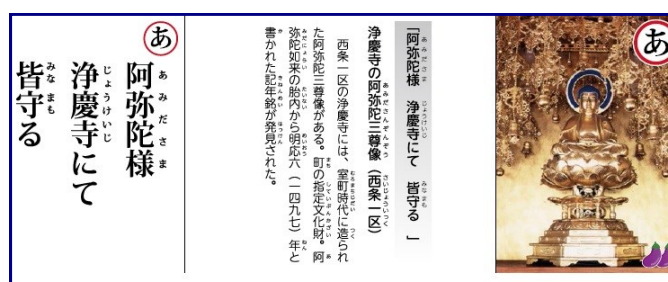
て、その楽しさをもっと多くの人に知ってもらいたいという彼らの熱い思いから、この交流会が実現しました。子どもたちは、遠足に行った時も木の実などを拾い集め、園児が安全に楽しく遊べるように遊び方やルールについて話し合いを重ね、入念に準備を進めてきました。

はじめの会では、児童の代表が心のこもった暖かいことばで園児を歓迎し、それぞれの催し物の担当者がポスターを使いながら内容について丁寧に説明しました。そしていよいよ交流が始まりました。「ねんちょうさんにやさしくて、あきのたのしさをつたえよう！」という「めあて」の通り、1年生は園児を優しい笑顔でもてなし、お兄ちゃんお姉ちゃんぶりを大いに発揮していました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、おわりの会では、双方から「楽しく遊べてよかった!」「もう少し一緒に遊びたかった!」との率直な感想が聞かれました。最後は1年生の「また来てね~!」の大合唱に、園児たちは後ろ髪を引かれる思いで小学校を後にしました。



## 公民館活動事例発表 昭和町中央公民館



### 昭和町ふるさとかるた

12月5日(水)、山梨市民会館で「山梨県公民館活動研究推進大会」が開催され、公民館活動の事例発表がありました。中北管内では、昭和町の取り組みとして、同町教育委員会生涯学習課の今村秀紀氏と同町社会教育委員の会の小池公昭氏から、「子供・大人・公民館活動」と題した発表がありました。

地域の歴史や文化・伝統を後世に伝えていくために作成・販売されている「昭和町ふるさとかるた」が紹介された後、同町唯一の公民館である中央公民館を拠点として行われている様々な教室が紹介されました。

取り組みの中で、生徒の皆さんのモチベーションを上げる工夫も紹介されました。例えば、「日本舞踊」教室に通う生徒さんには、日頃の練習の成果を発表する場として、町の「文化祭・公民館まつり」が設定されています。また、「囲碁」教室に通う子どもたちと「いきがいクラブ連合会囲碁部」のお年寄りとの対局も行われており、世代の垣根を越えた交流も積極的に行われています。「昭和町の歴史講座」では、公民館で事前学習をした後、現地を探訪するという効果的な学習の“流れ”ができています。

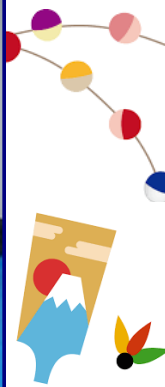


町の人口増加と施設設備の老朽化に伴い、現公民館は、図書館などの機能を備えた新しい施設に建て替えられる計画があるそうです。この新しい施設は、生涯学習や地域活性化の拠点としてますます重要な役割を担う場となることでしょう。

## 親子しめ飾り教室 峡中地区社会教育の会

12月16日（日）に、南アルプス市立南湖小学校を会場に、峡中地区社会教育の会主催の「親子しめ飾り教室」が開かれました。教室には南湖小学校の親子16組が参加し、しめ飾り作りを体験しました。講師の東條先生及び社会教育の会会員の指導の下、南湖小学校の飯窪校長先生をはじめ、多くの先生方にも御指導いただきながら取り組みました。大人にとっても縄をなうということは大変な作業ですが、親子で力を合わせ楽しそうに作っている姿がとても印象的でした。

完成したしめ飾りを手に笑顔いっぱいだった子どもたちと保護者のみなさん、世界に一つしかない手作りのしめ飾りでよい年が迎えられたことでしょう。



## 「山梨ことぶき勸学院」平成31年度の学生募集について

山梨県の高齢者の生涯学習の場である「山梨ことぶき勸学院」では、来年度の学生募集を行います。

○入学案内・募集要項配付：平成31年1月下旬から

（各市町村の教育委員会や教育事務所などで配付予定）

○出願受付：平成31年2月1日（金）から（定員になり次第締切り）

○修業年限：2年（1年間で25講座実施）

○講座日：原則として火曜日（月平均2回）

○費用：入学後に基本学習費として16,000円を納入

※お問い合わせ先：山梨ことぶき勸学院 電話055-233-6947



## 第3回 峡中・峡北地区 地域教育推進連絡協議会 の御案内

日 時：平成31年1月31日（木） 14：00～16：30

場 所：北巨摩合同庁舎 1階 101会議室

講 演：「子ども食堂の活動を通じて見えたもの」

講 師：内藤 陽一 氏（一般社団法人 育みの会 代表理事）

平成30年度 『中北.com』 No.5  
編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援

スタッフ 深澤 隆二・伊藤 哲也

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

Fax 0551-23-3013

※本紙は中北教育事務所のHPでもご覧になれます

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/>